

## 令和4年度 みどりの基金を活用して実施する事業（案）

※掲載の各事業については、今後、財政部局との議論、議会での審議を経て、最終的に決まるものであるため、事業の成立の可否、内容の変更等がある

目ざすべき将来像

## みどりの風を感じる大都市・大阪

## 事業の方向性

- 地域住民等の緑化活動への支援を中心に、「みどりの風促進区域」内でのみどりづくりへの取組みの強化を図り、引き続き「みどりの風を感じるネットワーク」の形成を進める。

令和4年度 実施予定事業  
(継続事業)

## みどりづくり推進事業

PTAや商店会などの地域団体が連携して行う花壇づくりや幼稚園等での植樹、芝生化などの緑化活動を促進  
「みどりの風促進区域」内での普及啓発を強化  
(助成対象)・地域の緑化組織(地域住民、PTA、民間企業等で構成)が協同で行う緑化活動

助成

令和3年度予算額  
16,000千円

## 地域緑化推進事業

自治会、住民グループなどに市町村を通じて苗木を配付し、住民による地域の植樹活動を促進  
「みどりの風促進区域」内での普及啓発を強化  
(配付対象)・多くの方の目に触れる場所(公園、学校、住宅地等)で地域の方々が協同で行う緑化活動  
※令和3年度から、より多くの府民の方々に緑化活動へ参加して頂くため、下記のとおり応募条件の緩和や配付樹種の拡充等を実施  
①植付け場所の緩和として、花壇等への直植えに加えて、大型プランター/容量100ℓ以上への植付けを可能とした。  
②高木の申請本数の緩和として、申請本数の下限を10本以上/箇所から2本以上/箇所とした。  
③配付樹種の拡充として、高木のみ11種類から、高木1本あたり低木・つる植物(全14種類)を5本以内で申請可能とした。

委託

令和3年度予算額  
16,049千円

## 新型コロナ禍への対応支援

○新型コロナウイルス変異株等による新たな感染拡大が懸念されていることから、引き続き、みどりづくり推進事業の実施に係る対応について、緑化活動に際して必要な感染防止対策が実施されるよう、以下について参加される人数分相当の費用を助成の対象に設定  
①唾液による飛沫感染を防ぐためのマスクの購入費用  
②手指による接触感染を防ぐための消毒用アルコール、作業用手袋の購入費用 等

既往事業の  
継続支援

## 実感できるみどりづくり事業(平成28年度～令和元年度)

実感できるみどりづくり事業において認定した「実感・みどり事業者」11者が自主的に取組む緑化促進活動への支援を継続  
<支援の例>活動への助言、みどりづくり推進事業、地域緑化推進事業を活用した支援  
※民間事業者による街区単位等の面的・線的なみどりのまちづくりに対して経費の一部を助成(平成28年度～令和元年度)し、計8件の緑化整備を実施

支援

制度の  
見直し

## コロナ禍を踏まえた新たな緑化制度の検討

○みどりの基金事業の実施箇所数について、近年減少傾向であることから、令和3年度からの取組みとして、地域緑化推進事業において、応募条件の緩和や配付樹種の拡充等を実施。  
○また、緑化に対する府民のニーズや課題等を把握するため、本年度中にアンケート調査を実施し、現行制度の見直しを図る。

令和3年度で  
終了する事業

## 良好な緑陰づくり支援事業(令和元年度、令和3年度)

民間施設による接道部への高木緑化を支援し、将来にわたって大阪の魅力となる沿道の良好な緑陰形成を促進  
(助成対象)・民間施設(マンション、事業所、商業施設等〔個人の戸建住宅を除く〕)の接道部での高木植樹(道路と敷地の境界から3m以内の場所への樹高3m以上の樹木の植樹)  
※令和2年度は、新型コロナウイルス対応に係る事務事業シフトにより事業休止(令和元年度実績:4件)

助成

令和3年度予算額  
5,000千円